

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年6月13日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	36120
政策名 (章)	第6章 高度情報化への対応を図ります	評価担当課	企画部 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 豊かな市民生活を実現する情報化の推進		企画政策課
施策名	地域情報通信基盤の整備	課長名	田所直久

1 施策の概要・目的

- 市民の誰もが、いつでも、どこでも用意に情報の受発信や交流ができる豊かなコミュニケーション社会の実現
- 豊かな市民生活や活発な都市活動を支える地域情報通信基盤の整備促進

2 施策の現状

- 光ファイバー網の普及など情報通信基盤の整備を促進
- 障害者や高齢者等、市民の誰もが用意に情報の受発信ができるシステムの整備
- 情報センターの設置の検討

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

10,256 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

17 円/人……人口は、61.6 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 115 番目です。

(4) 施策に要している人員

0.01 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	地域情報関連設備の整備率	情報通信網、システム、情報センター等の整備	現状	0 50 100	未定	目標年度
			目標	未把握	達成度	未把握
指標2	市民の誰もが容易に情報の受発信ができるシステム整備 ※Sネットワークシステムの整備 ※市HPの充実	システム整備状況	現状	0 50 100	15	目標年度
			目標	100%	達成度	100%
指標3			現状	0 50 100		目標年度
			目標	%	達成度	%

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

IT産業の沈滞化・減速があるが、誰もが簡単に使用できる通信基盤の整備について、高齢社会における様々な対応のために高いニーズがあると思われる。

6 有効性…期待される効果があがっているか

構成する事務事業の該当はないが、将来の高齢社会を考えると基盤整備は期待されるものである。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

民間ベースで進めているもので、利用者(需要者)との兼ね合いの中で、どれだけマーケットがあるか、拡大するかが問題であると考ええる。

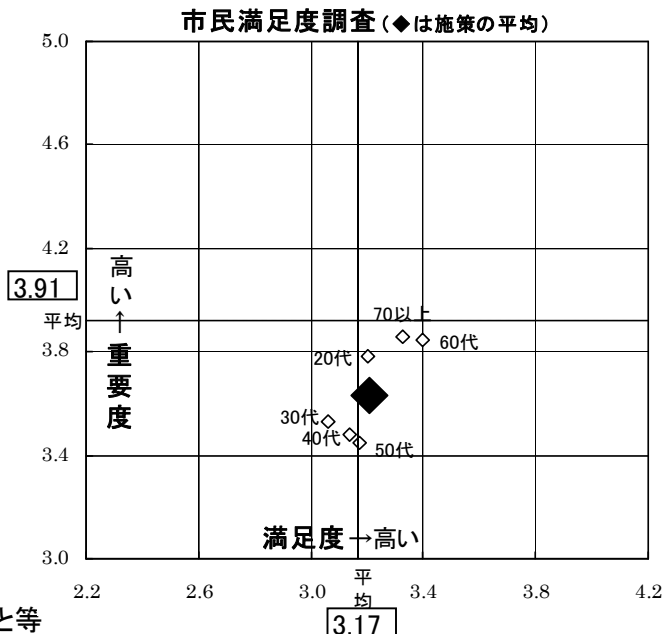
8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

◆この施策の満足度は、3.211で、調査した51施策の中で21番目です。

◆この施策の重要度は、3.633で、調査した51施策の中で43番目です。

◇年齢別にみると、満足度及び重要度ともに60歳代以上で高く、30歳代～50歳代で低くなっています。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

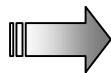


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

- ・長引く景気低迷
- ・ITバブルの崩壊
- ・マーケットの拡大(ケーブルテレビとの競合)
- ・コンテンツの問題
- ・加入費 など

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input type="checkbox"/> 拡充する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

長引く景気低迷の中、民間ベースの整備促進を図っていかざるを得ない状況にある。
 情報センターの設置については、再検討を要すと考える。

11 2次評価

説明

<input checked="" type="checkbox"/> A	行政サービスを向上させ利便性を高めていく上で、今後情報基盤の整備は必要不可欠であるため、行政と民間の役割分担により推進していくこと。
<input type="checkbox"/> B	
<input type="checkbox"/> C	

12 外部意見

説明

情報通信の高速化・大容量化が求められている中で、市民生活の更なる向上のため、公・民の役割分担を明確にしながら基盤整備を推進すべきである。

施策名 地域情報通信基盤の整備

施策コード 36120

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額(千円)	人員(人)	評価の概要									実施の優先順位
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性	今後の進め方	
緊急通報システム運営事業	高齢者福祉課	14	10,256	0.01	AA	A	A	A	A	A	A	/	継続	再掲

合計 1 事務事業 10,256 0.01 千円 人 平成14年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
 平成15年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、公平性